



組合員に支えられて50年
これからも組合員と共に

生協だより 創立50周年記念号

発行 愛知県職員生活協同組合
〒460-0001
名古屋市中区三の丸二丁目3番2号
TEL 052-954-6996
FAX 052-951-9881
Eメール: mail@seikyo-pref-aichi.or.jp
アドレス: https://www.seikyo-pref-aichi.or.jp
発行責任者 専務理事 三輪 浩

ー 生協は、組合員ひとりひとりが
「出資者」であり、
「利用者」であり、
「運営者」です。ー



権田 裕徳

生協創立50周年記念理事長あいさつ

「組合員に支えられて50年、
これからも組合員と共に」

愛知県職員生活協同組合は、県職員の福利厚生の実現を図るため、昭和49年10月に発足し、職員互助会と職員組合から引き継いだ事業の充実・発展を図り、本年創立50周年の節目を迎えることとなりました。

この記念すべき半世紀50年をこうして迎えましたのも、いつの時代も組合員の皆様に支えられ、併せて各職場班長や協力員の皆様のご支援・ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

また、50年という長きにわたり、こうして事業運営を継続して来られたのは、この間に当生協の経営に携わられた歴代役員の方々の並々ならぬご努力のお陰であり、深く敬意を表する次第であります。

この50年間、当生協は決して平坦な道を歩んできたわけではありません。バブル経済の崩壊等による国内景気の後退、県職員の定数削減、給与抑制、組合員を取り巻く生活環境の変化、インターネットの普及、自然災害、感染症等、当生協はその時々々の厳しい経営環境のなか、役職員一同大いに知恵を絞り、事業運営を展開してまいりました。

現在では、約16,500人の県職員等に加入をいただいております。売店や共同購入の供給事業を始め、保険・共済事業、提携カードを始め注文住宅紹介などの利用事業、WEBを活用したマイページなどにより、幅広いサービスを提供して、組合員の暮らしと健康を支えてまいります。

しかしながら、現在に至りましても、原材料費・光熱水費や人件費の高騰、生協の主力事業の一つである保険加入者の減少傾向等、当生協を取り巻く厳しい状態は当面続くものと思われまします。

生協は、営利を目的とせず、協同互助の精神のもと、組合員の皆様に最大限奉仕することが使命であります。

引き続き役職員一同、こうした困難を乗り越えるよう多様化した組合員のニーズを的確に把握し、サービスの向上に努めるとともに、各種事業をさらに充実させて参りたいと考えております。

生協は、より多くの組合員の皆様の参加、利用によって大きな力を発揮できる組織です。

組合員の皆様には、各種生協事業の積極的なご利用をお願いするとともに、各職場班長や協力員の皆様におかれましては、これまで以上のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

生協創立50周年記念事業の取組み

記念品の配付



CO・OPたまごスープ(5食入)

生協だより
記念号の発行

50周年記念賞品
大抽選会

共同購入50周年記念
CO・OP商品
おすすめセット

売店50周年記念
特別セール

売店商品購入者
記念品配付

令和6年度役員

理事長	権田 裕徳
副理事長	田中 優輝
専務理事	三輪 浩
常務理事	鈴木 庸一郎
理事	谷口 岳史
理事	小山 厚子
理事	清田 佳治
理事	水谷 景子
理事	亀井 祐介
理事	石原 央平
理事	伊藤 祐司
理事	杉山 正直
監事	谷井 優斗

半世紀50年～生協の主な出来事

ホームページには、主な生協の出来事(生協だよりは一部掲載)の他、社会の出来事や流行歌も年ごとに掲載されています。この機会に、組合員の皆様一人一人ご自身やご家族の人生の歩みと照らし合わせてご覧ください。

昭和49年(1974年)

- ・狂乱物価や消費者運動の高まり等を背景に、生協設立準備
- ・総会(9・3)、知事認可(9・20)、登記(9・25)
- ・職員互助会、職員組合から事業を引き継ぎ、事業開始(10・1)
- ・職場班体制の確立
- ・地域格差の解消を図る「共同購入」の開始
- ・自動車保険の取扱い開始

昭和50年(1975年)

- ・生協だより第1号発刊
- ・終身保険、火災共済取扱い開始
- ・第1回テスト商品CO・OPはみがき・石けん配付(H25一日終了)

昭和51年(1976年)

- ・グループ生命保険(以下グループ生保)に子ども保険新設
- ・組合員の加入率調査(加入率95・6%)

昭和52年(1977年)

- ・グループ生保最高保険金額を増額(本人1,200万円↓2,000万円※以下本人円省略)
- ・店舗及び施設運営委員会設置

昭和53年(1978年)

- ・医療保険取扱い開始
- ・グループ生保最高保険金額を増額(2,000万円↓2,500万円)
- ・厚生諸費控除の電算化

昭和54年(1979年)

- ・創立50周年記念で非常持出袋、冊子緊急ハンドブック等配付
- ・組合員の出資金管理電算化
- ・共同購入利用者の調査(利用率18・7%)

昭和55年(1980年)

- ・グループ生保最低保険金額を増額(300万円↓500万円)

昭和56年(1981年)

- ・愛知県4週5休制の実施
- ・年金保険取扱い開始
- ・グループ生保最低保険金額を増額(500万円↓700万円)

- ・職員組合「県職まつり」に初参加、うどん試食会即売等

昭和57年(1982年)

- ・プレイガイド事業開始
- ・新幹線回数券、映画音楽鑑賞券、ナゴヤ球場入場券、特約ゴルフ場等
- ・指定店(愛生会)展示会開催(中小企業センター)
- ・ココニ一食堂新設

昭和58年(1983年)

- ・アメリカンファミリー保険等の徴収事務開始
- ・ココニ一美容室閉鎖
- ・月賦制度の導入

昭和59年(1984年)

- ・創立10周年記念行事実施
- ・ミニ折りたたみ傘配付
- ・会員制別荘エメラルドグリーンクラブ会員権取得
- ・組合員証のプラスチックカード化、預り配当金の出資金への振替等
- ・団体傷害保険取扱い開始

昭和60年(1985年)

- ・グループ生保最低保険金額を増額(700万円↓1,000万円)
- ・自治センター16Fに直営売店と食堂、談話室を新設

昭和61年(1986年) - 年金保険の最高加入口数を増額(10口→30口) - 団体傷害保険にゴルフアープランを新設 - 中日劇場観劇券の取扱い開始	昭和62年(1987年) - 愛知県4週6休制の実施 - 共同購入の商品企画案内『生協家庭だより』発行 - 共同購入定番品の受発注、納品管理等を電算化 - グループ生保最低保険金額を減額(1,000万→500万) - 事業案内冊子『暮らしのメッセージ』を創刊	昭和63年(1988年) - 共同購入定番品の宅配実施 - 第1回班長会議を1会場からブロック別3会場に切替	昭和64年(1989年) 昭和天皇崩御	平成元年(1989年) - 創立15周年記念で象印フリーストックの配付 - 消費税導入に伴う商品価格の取扱い方針決定	平成2年(1990年) - 共同購入配送体制の見直し - 組合員1割アンケート(無作為抽出)を実施 - ゴルフ教室を開催	平成3年(1991年) - 豊田事務所理容室閉鎖 - 大相撲観覧券の取扱い開始(H13終) - グループ生保に災害特約を付加	平成4年(1992年) - 愛知県完全週休2日制の実施 - 名刺印刷の取扱い開始 - グループ生保加入年齢変更(新規56才→45才等) - 郵政省簡易保険の取扱い開始
---	---	--	---	--	--	--	---

平成5年(1993年) - 産地・メーカー等見学学習会を実施 - 商品モニター制度発定 - 白壁庁舎談話室新設 - グループ生保配当方式を一律配当から年代別配当に - グループ生保最高保険金額を増額(2,500万→3,000万) - サッカーリーグ入場券の取扱い開始(H10終)	平成6年(1994年) - 創立20周年記念行事を実施 - オリジナルテレホンカード及び各職場班に救急箱を配付等 - 知多事務所理容室閉鎖 - 日石ガソリンカードの取扱い開始 - 直営売店で阪神大震災義援募金箱を設置	平成7年(1995年) - 東三河直営売店、新庁舎でリニューアルオープン - 新装した西三河総合庁舎に直営売店を新設 - グループ生保正規保険料の適用	平成8年(1996年) - 本庁書店を業者委託から生協直営に変更 - 第1回生協ファミリィフェスタ開催(H20終)	平成9年(1997年) - 生協事務局自治センターに移転(本庁1階→自治6階) - 本庁直営売店、委託店舗移転(地下1階→5階) - 三の丸庁舎食堂・談話室新設	平成10年(1998年) - 鑑賞券等の取扱い拡充(チケットぴあ等) - 三越、名鉄デパートカード取扱い開始(H19終) - 注文住宅・分譲マンション提携割引開始
---	--	---	---	--	---

平成11年(1999年) - 創立25周年記念事業を実施 - 象印ステンレスボトル配付 - ミリオンゴールドカード提携組合員証の発行、組合員全員アンケート等 - グループ生保毎月加入制度導入	平成12年(2000年) - 地方事務官制度の廃止(地方事務官の脱退) - 事務室内禁煙 - インターネットホームページを開設	平成13年(2001年) - 本庁、西庁にフード自販機設置 - 西庁洋食堂、自治センターレストランが閉鎖	平成14年(2002年) - 西庁売店が移転(地下1階→10階) - 本庁地区売店にPOSシステム導入 - 西三河売店収入印紙取扱い開始(バスポート申請用) - コロニー理容室閉鎖	平成15年(2003年) - 保険代理店契約を締結 - 県防災服のデザイン変更、共同購入で取扱い	平成16年(2004年) - 創立30周年記念事業を実施 - オリジナル図書カード配付 - グループ生保加入年齢条件及び増額年齢上限撤廃 - グループ生保最高保険金額を増額(3,000万→3,500万) - 記念誌「30年史」発行等 - 退職者組合員制度新設 - 県立学校事務職員の組合員化 - 知多理容室閉鎖
---	---	--	--	--	---

平成17年(2005年) - 愛知万博チケットの取扱い - 本庁理容室閉鎖	平成18年(2006年) - 西庁売店芳光のわらび餅や梅花堂の鬼まんじゅう等、名古屋有名店商品の取扱い - 東三河理容室閉鎖	平成19年(2007年) - 食堂、喫茶室の全面禁煙実施 - 退職者組合員へ共同購入商品案内開始 - 本庁、西庁喫茶室閉鎖	平成20年(2008年) - 酒販免許取得(H29終) - 火災保険(地震保険)取扱い開始 - 出光ガソリンカード取扱い開始 - 生協だより、家庭だより全組合員配付から5人に1部配付へ変更 - 各売店でレジ袋有料化(全組合員へマイバック配付)	平成21年(2009年) - グループ生保等配当金を個人口座振込へ変更 - 創立35周年記念事業を実施 - CO・OP生活応援バック配付 - グループ生保年齢条件及び増額年齢上限撤廃等 - 三の丸庁舎食堂閉鎖 - 共同購入口イブズチョコ取扱い開始	平成22年(2010年) - 県とタイアップした「いいともあいち広場」開催 - あいちトリエンナール2010チケット取扱い	平成23年(2011年) 本庁地区飲料自販機が生協管理から公募による県貸付に切替
---	--	---	---	---	---	--

平成24年(2012年) - 愛知県庁本庁舎プラモデル販売 - 東日本大震災復興支援「岩手・宮城・福島応援!名産品フェア」の実施 - 職場班長交流見学会、抽せん券付特別セール今年度で見直し - ナゴヤドームシーズン券今年度で見直し	平成25年(2013年) 「CO・OP商品魅力アップセール」の実施 「いいともあいち広場」がんセンター初開催 - あいちトリエンナール2013チケット取扱い - スギ薬局商品券の取扱い開始(H28終) - 宝くじ取扱い終了 - 西庁理容室閉鎖	平成26年(2014年) - 名古屋市互助会と合同で住宅相談会開催 - 財形住宅金融、眼鏡市場、洋服の青山等と新規提携 - 創立40周年記念事業を実施 - CO&クノールスーパバリエイバック配付等 - 本庁書店を西庁売店に併設 - 生協事務局移転(自治6階→3階) - 自治センター売店移転(自治6階→2階)	平成27年(2015年) - グループ生保加入年齢制限撤廃 - 医療保険随時加入取扱い開始	平成28年(2016年) - AOKI、HIS、スギヤマ薬品(H30終)等と新規提携 - レゴランドジャパンオープン記念特別バスポートの取扱い - 豊田食堂閉鎖 - あいちトリエンナール2016チケット取扱い
---	---	--	---	--

平成29年(2017年) - 県職員番号7桁化に伴う組合員番号7桁化 - MUGレインボーカードの組合員証の取扱い終了、新組合員証発行 - 東三河、西三河食堂閉鎖	平成30年(2018年) コロニー再編に伴う売店食堂、喫茶室を閉鎖	平成31年 令和元年(2019年) - 平成30年度決算で、設立以来初の赤字決算 - グループ生保共同引受制度開始 - グループ生保最高保険金額を増額(3,500万→4,000万) - エメラルドグリーンクラブ破綻、会員制から会費制へ - あいちトリエンナール2019チケット取扱 - 経営改善計画2020の策定(H24)	令和2年(2020年) - ネット型生活保険(東京海上)新規取扱い開始 - ホームページ全面リニューアル - 新組合員番号の附番(県職員番号から生協独自番号) - マイページ導入、新規登録キャンペーン実施 - 事業案内冊子『暮らしのメッセージ』を『お得カタログ』にリニューアル - コロナ対策 - 売店、食堂、喫茶室等にアクリル板設置 - 通常総代会縮小開催(書面決議の推奨) - 人が集まるイベントの自粛等	令和3年(2021年) - 自動車保険の代理店追加(第一、日本) - ペット保険新規取扱い開始
---	---	---	--	---

創立50周年記念事業協賛・協力企業一覧 ご協力誠にありがとうございました。 - 日本生活協同組合連合会 - 福井県庁生活協同組合 - 株式会社エイチ・アイ・エス - サントリービレッジソリューション株式会社 - カゴメ株式会社 - サンヒルズ三河湾 - 株式会社種清 - 株式会社ブルボン - 株式会社文方社	令和4年(2022年) - 年末調整用の保険料控除明細書をマイページ表示に切替(紙配付から電子配付) - 国際芸術祭「あいち2022」チケットの取扱い - 海部理容室、知多食堂閉鎖	令和5年(2023年) - 公務員賠償責任保険新規取扱い開始 - グループ生保の配当金で39歳以下が初の100%還元 - 自動車保険の代理店追加(明治安田、住友)	令和6年(2024年) - 本庁地下1階委託売店ファミリィマーケット開業 - 本庁直営売店閉鎖 - 創立50周年記念事業を実施	編集後記 組合員の皆様に支えられて、創立50周年を迎えることができました。本当にありがとうございます。今後60周年、70周年と続き、みなさんから「生協があって良かった」と言っていただけけるよう職員一同頑張ります。
---	--	---	---	---